



# 無線LANを活用して 機動力をアップ!

## シネコンの販売ワゴンに搭載して 売場の接客対応をスピード化 管理部門は仕入れ戦略を強化

シャープ ネットワーク対応 『UP-700S』  
システムレジスタ

東京・立川市のシネマシティとシネマ・ツアーは、合わせて11スクリーンを持つシネマコンプレックス。そこで活躍するのがシャープのネットワーク対応システムレジスタ「UP-700S」だ。映画館で売るのは切符だけではない。ドリンクやポップコーンといった飲食物、プログラム、ポスター、キャラクターグッズなどの関連商品も多数ある。ワゴンにはシステムレジスタを搭載し、それらはすべて無線LANで、1台のPCで管理。この機動力が、サービスのよさにつながり、収益を伸ばしている。

JR立川駅の2階改札を出て北口を抜けると西へはモノレール駅、正面にはショッピングビルへと、車に煩わされることなく行き来できる機能的なベデストリアンデッキが広がる。そのまま地上に降りずに歩道を進むと、やがて見えてくるのが緑川通り沿いにあるシネマシティだ。6スクリーン、全席1025席を備えたシネマコンプレックス(シネコン)で2004年6月から導入されているのが、シャープのネットワーク対応システムレジスタ「UP-700S」である。

「ハリポッター」の初日に何としても間に合わせたかったんですよ」  
こう語るのは、支配人代理を務める藤原英明さんだ。超人気作の第3弾「ハリポッターとアズカバンの囚人」が封切られたのは6月末のこと。世界的ベストセラーの映画化とあって1・2作目は大ヒット、3作目もそれ以上と言われていた。カーペット敷きの館内に射掛けつきのソファ。ここ10年、すっかり定着したシネコンの最大の特徴は、快適な映画鑑賞を提供すること。全席指定のための最新システムは順調に稼働し、配給会社のPRも含めてチケット販売体制は万全だった。

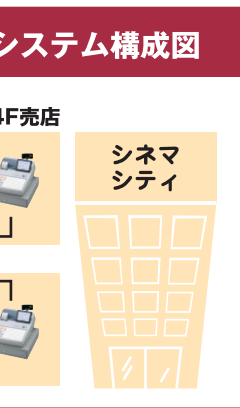
だが、問題は物販だ。ロビーでのポップコーンやドリンク、パンフ類の販売は、よくて通常のレジ、それもなければ紙と鉛筆でやりくりしていた。通常の映画ならばともかく「ハリポッター」は別格。パンフやポスターはもちろんな、マグカップにキーホルダー、トレードマークのメガネやシャツ、ネクタイ、下敷きやノートなどありとあらゆるものが揃い、足元まであるコスチュームセットとなるとチケットを遥かに超える金額になる。物販だけで立派なビジネスとして成り立つチャンスに、紙と鉛筆はあまりにもこころもとない。

手作業では現場の忙しさに応じきれないという事情に加えて、上映期間中も品切れする品物を見定め、次から次へと仕入れる必要もあった。即時に何がいくつ売れているかを把握しなかったという。従来の、販売終了後に、仕入れ数から売れ残り数を差し引いて計算する超アナログ方式ではとても対応し切れない。「ノートPCなども考えたのですが、操作性がよく、ネットワークにきちんと対応し、しかも耐久性の優れたものをと検討していくと、シャープのシステムレジスタ



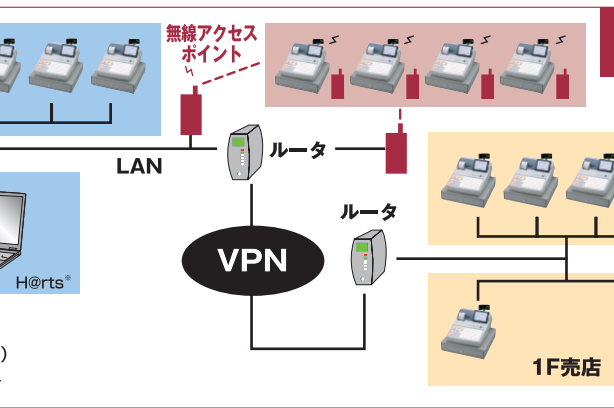
1~5階に上映館があるシネマ・ツアー。すっきりした壁面と入口はインテリジェントビルを思わせる。

月に及ぶロングランの間の販売額はざっと400万円。目の回る忙しさの中で、システムレジスタは精算業務、管理業務に欠かせない存在だったという。



いち早くシステムレジスタを導入したシネマシティのカフェ。

システムレジの使い勝手に満足された藤原さんは、さらに4台追加し、また2004年7月に新しくオープンしたシネマ・ツアーにもその導入を決めた。シネマ・ツアーはシネマシティから200メートルほど西にあり、5スクリーン1245席を備えるシネコン。こちらには一気に8台を導入した。2階のチケット販売ロビーにフライドポテトやドリンク類の販売のために4台設置し、残りの4台は販売ワゴンに取り付けた。これは無線LANを用いた全く新しい使い方があった。「上映前にスクリーンのあるフロアのエスカレーター前に「戦車」を持って行き、そこでパンフ類やコーラなどを販売すれば、1回に数万円の売上げになります」と、シネマ・ツアーで販売を担当する遠山武志さんは語る。シネマ・ツアーはチケ



ット販売の2階を挟み、1、3階と4、5階にスクリーンが分かれる。観客はそれぞれのフロアへエスカレーターで向かうので、その降り口で待ち構えるのだ。どのフロアへも自在に移動できる。遠山さんらは「戦車」と呼んで頼りにしている。上映時間に合わせてフロアを移動して、4フロア、それぞれ1日5回ほどの上映での売上げは数十万円になる。2階における販売にも導入効果は大きかった。従来は計算を楽にするためポップコーンもジュースも200円と単純な価格設定だったが、システムレジなら、登録しておけばレジのボタンひとつで売上処理ができるから、アイテム増にも簡単に対応できる。

**施設概況**

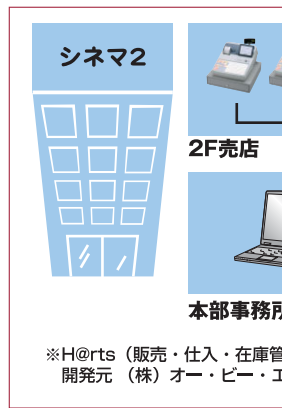
施設名：シネマシティ/シネマ・ツアー  
所在地：〒190-0012 東京都立川市曙町2-8-5/2-42-26  
支配人代理：藤原英明氏  
施設規模：6スクリーン、1025席(シネマシティ)  
5スクリーン、1245席(シネマ・ツアー)

http://cinemacity.co.jp

システムレジスタに関するお問合せ  
シャープ株式会社情報通信事業本部システム機器営業部  
東京都新宿区西谷八幡町8番地 TEL.03-3260-8430 http://www.sharp.co.jp



スタッフが「戦車」と呼ぶシステムレジ搭載の販売ワゴン。(シネマ・ツアー)



日々変化する売上げを把握できるからデータに基づいた確かな仕入れができる

戦車に積まれたレジも通常のものとなら変わらない。1日を終えた時点で、横に備わった無線LANの装置でPCにデータを飛ばす。総売上をはじめ、単品ごとの売上げが即座にわかる。販売現場での効率化が実現したのは別に、仕入

藤原 英明 支配人代理

UPZ0004